

▲▽ Pearl Harbor 海の彼方の戦争遺跡 ▽▲ 尾辻弥寿雄・写真展

月刊誌「海員」の海員フォトギャラリーで選評を行っている尾辻弥寿雄氏の写真展が、
昨年12月15日から21日までの間、新宿のアイデムフォトギャラリー「シリウス」
で開催され、好評を博した。
今回の内容は写真集として出版され、長崎と真珠湾の関係をあとがきに寄せている

尾辻弥寿雄写真集

Pearl Harbor 《海の彼方の戦争遺跡》から

私にとって故郷長崎の夏の取材は、原爆記念日を中心としてすっかり恒例
となっている。2019年の撮影は、目的のひとつがハワイ、パールハーバー
の真珠湾航空博物館に零戦と共に展示されている91式改良型魚雷(レプリ
カ)が長崎の三菱兵器製作所で製造されたものかどうかの確認であった。

「三菱重工業長崎造船所史料館」には「戦艦武蔵」をはじめ長崎造船所で建
造された大日本帝国海軍の軍艦群が史料として展示されている。その一角に
91式改良型魚雷が展示されていた。

1941年12月7日(現地時間)に、日本軍は真珠湾に停泊していたアメリカ
太平洋艦隊を急襲、そのとき日本軍が使用した爆弾の一つが91式改良型魚
雷である。この魚雷で戦艦オクラホマをはじめ8隻が轟沈大破している。

真珠湾航空博物館の展示品は実物大ではあるがレプリカのためリアリティ
を感じなかった。しかし「三菱史料館」にある魚雷は三菱長崎兵器製作所
で製造された約9000本のうちのひとつで、1997年に沖縄県豊見城村で発
見された実物である。錆止めでコーティングされているが、鉄の質感は圧倒
的な存在感で禍々しさを感じるのである。まさにパールハーバーで多くの軍
艦を大破轟沈させた戦争道具であった。この魚雷の改良の成功が、水深12
メートルという浅い真珠湾に停泊する艦船の攻撃を決行する要因のひとつと
なったという。

魚雷を製造した三菱兵器製作所の存在がその後の長崎への原爆投下へと進
んでいく。長崎の街の片隅には三菱兵器製作所の敷地を示す石柱が歴史を証
言するかのように今も立っている。

2014年から始めたパールハーバーの撮影が、2020年以降世界的なコロナ
禍のため、撮影に行けなくなったのは大いに心残りである。

「海員だより」